



主 題

- クラ ブ (主 題) “ He that would know what shall be, must consider what has been. ”
「故きを温ねて新しきを知る」 岩原 義則 会長
- 国 際 (主 題) “ Mission with Faith ”
「信念のあるミッション (使命・目標)」 ウィチアン・ブーンマパジョン (タイ)
- ア ジ ア (主 題) “ Through Love, Serve ”
「愛をもって奉仕をしよう」 エドワード ケーダブリュー オング (シンガポール)
- 西日本区 (主 題) “ You can do it! Yes, you can! ”
「あなたならできる! きっとできる」 遠藤 通寛 (大阪泉北)
- 中 西 部 (主 題) 「和を以て貴しとなす」
奥田 時夫 (大阪土佐堀)

聖 句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙一/05 章 16 節~18 節

65 周年記念例会まで間近・・・本居宣長の気分で

岩原 義則

「敷島の大和心を人間はば、朝日に匂ふ山桜花」で有名な本居宣長は、とても桜が好きでした。彼は、「枕の山」という桜の歌を詠んでいます。別に「桜花三百首」ともいいます (315 首ありますが)。65 周年記念例会 (4/2) は、桜が大きな意味を持ちますので、それをふまえて書いてみます。

本当に、あと間もなくです。

6 春なからまた風寒みさくら花枝にこもりて時やまつらむ
おそらく当日は、こうなります。

46 はるはると来つるもしく山さくら花はけふこそ盛りなりけれ

和歌の桜は、ほとんどがヤマザクラですが、今は、ソメイヨシノが主流です。ソメイヨシノは、クローン植物で、接ぎ木などでしかその優れた形質を残すことができません。得体のしれない起源説に惑わされる必要もない、まさに、桜は、日本と日本人とを体現した花といえましょう。新渡戸稲造は「武士道」で、「武士道に接ぎ木されたキリスト教」の定着を唱えました。ソメイヨシノも接ぎ木により、たくさんの人の心をとらえ人との共存の道を開いたのです。

もうひとり忘れてはならない桜好きがいます。西行です。

花見んと群れつつ人の来のみぞあたら桜の咎にはありける
能の西行桜と同じく「桜の咎」についてもご議論いただければとても幸いです。

ともあれ、土佐堀クラブ一丸となって準備しています。お楽しみに。

150 ちからなき枝にはあれと天地も動かしつへき花の色かな

4 月 例会プログラム

< 65 周年記念例会 >

日時：2016年4月2日 (土) 11:00~15:00

会場：KKRホテル大阪

担当：生地実行委員長

クラブメンバー、メネット、コメント全員

65 周年記念例会を通常例会の扱いとします。

当日はIBCナイトも予定しています。

例会内容は当日配布するパンフレットに掲載します。

メンバー・メネット

集合時間：4月2日 (土) 午前9時

集合写真撮影、準備

持ち物：お揃いのスカーフ

ドレスコード：記念例会にふさわしいもの

ワイズのバッチを付けてきましょう!

解散：IBCナイト終了後

体調を整えて当日を迎えましょう。

4 月の強調テーマ < YMCA サービス・ASF >

ワイズメンは、YMCA をより深く理解し、ユースに寄り添い、今まで以上に「Y サカ」をアップできるよう、積極的に努力しましょう。

河合久美子 Y サ・ユース事業主任 (京都ウエストクラブ)

65周年記念例会は楽しいぞー

福島 眞一

3月

役員会報告

小島 英恵

3月15日に3月例会が開かれました。3月例会には広義会員でハワイにお住いの中川ワイズが可愛らしいお二人のコメントと一緒に久しぶりに参加されました。

3月例会では、4月2日(土)に開催されます私ども大阪土佐堀クラブ65周年記念例会の準備を行い、いつもの例会とは違った例会になりました。

当日は、我々メンバー21名と海外からいらっしゃるワイズ約40名を含め200名超の集まる例会になる予定です。

“Gateway to the World”ー世界につながる大阪土佐堀ワイズメンズクラブーがこの例会のテーマとなっています。ゲストスピーカーは関西同友会代表幹事の蔭山秀一さんで、「今、関西で何が起きているのか!」を話していただきます。

講演内容を海外からの方に理解していただく工夫、限られた時間の中にいっぱい詰め込んだ楽しいイベントでゲストの皆さん、ビジターの皆さんにいかに楽しんでいただき満足していただくか、みんなで知恵を絞り“おもてなし”の準備しました。

4月2日は、桜前線が通過中で満開の桜が咲く大阪城公園に隣接したKKRホテルでみんなで楽しみましょう。



3月のお誕生日・結婚記念日の皆さん

日時：2016年3月22日(火) 18:30~20:30

場所：奥田ビル3階

出席者：岩原会長、生地、岡野、奥田、小島、工藤、只野、丹吾、永井、灰谷、福島、水口

報告事項

1. 3月例会

[3月15日(火) 18:30~20:20 大阪YMCA会館902号室]
例会担当C班 出席者：メン17名、メネット1名、コメント2名、ゲスト0名・ビジター0名 メーキャップ1名、出席率18/18=100%、ココ：0円/64,490円、トスファント：0円/90,430円

2. 65周年実行委員会 3/1(火)18:30~
IBCの対応、IBCナイトについて
今後の実行委員会 3/26
3月例会でリハーサルを行った

3. 3月会計報告

協議事項

1. 65周年実行委員会 3/26(土)10:00~15:00
最後のミーティングのため
昼食持参のこと!

2. 4月例会

[4月2日(土) 11:00~15:00 大阪YMCA会館]

3. 次期役員選定など協議

4. うなぎの森実行委員会

[4月6日(水) 18:30~ 大阪YMCA会館]

5. 「六甲山へ集まろう」Yサ・ユース事業

[4月16日(日) 18:30~20:20 大阪YMCA会館]

6. うなぎの森

[5月8日(日)]

7. 西日本区大会・国際大会の参加について

8. 4月例会に代わる次期役員によるクラブ研修会

[4月19日(火) 18:30~20:20 大阪YMCA会館]

9. IBCナイトについて

10. その他

[International]

西日本区大会の登録しています!

ワイズメンズクラブ国際協会
第19回西日本区大会 参加要領

日程：2016年6月25日~26日

会場：松下IMPホール
ホテルニューオータニ大阪

大会登録費用：3月末までに登録 21,000円
それ以降 23,000円

昨年に引き続き地元大阪での開催です!

できるだけ参加してください。

申し込みについては岩原会長までお問い合わせください。

[International Brother Clubs]

〔IBC 来阪〕 Nice to meet you !

반갑습니다 ! 见到你很高兴 !

いよいよ、4月2日に土佐堀クラブ65周年記念例会が開かれます。忙しい時間を割いて、この行事に出席して下さる皆さんには、ただただ「感謝」あるのみです。海外からもIBCメンバー四十数名が出席されます。2011年の手帳を開くと、1月26日(火曜日)の欄に「18:30 中央路」とあります。これは、土佐堀クラブ60周年行事を約3ヶ月に控えた日、テジョン市内にある政府庁舎・国家記録院での資料閲覧を済ませ、その足で中央路に向かいました。用件は「土佐堀クラブ60周年記念例会」の出席要請でした。ケータイメールで指定された場所は中央路から少し入ったところにある韓式食堂で、迎えて下さったのはユンさんとチャンさんのお二人でした。手帳のメモはこの時のものです。突然の訪問であり、多少、厚かましいお願いであったにもかかわらず、快く対応頂いたことに頭が下がる思いがしたものです。そして、数日後、大勢で参加するとのメールに再度感謝したものです。しかし、60周年記念行事は行わず、震災支援コンサートに変更するとの連絡に対し、ハンバットクラブを始めとするIBC各クラブから心温まる応援メッセージを頂きました。それだけに、この65周年記念例会にIBCが参加されることは感慨深いものがあります。IBCとの交流を通じて感ずることは、「国を超え、直接交流をすることが相互理解のために如何に大切なことであるか」ということです。今回来阪されるIBCと締結以来、韓国ハンバットクラブとは43年目、台北セントラルクラブとは34年目、韓国済州三多クラブとは19年目を迎えます。今回の記念例会を契機にいっそう交流が深まることを祈ってやみません。IBC交流に情熱を捧げた小森ワイズが存在がいかに大きかったかを痛感する今日この頃です。

(岩田晋 記)



ハンバットクラブとは43年



台北セントラルクラブとは34年



済州三多クラブとは19年

シリーズ「私の〇〇年前」⑭ (会員リレーエッセイ)

小学校4年生から卒業までに貰った生涯の贈り物

永井 温子

今から60年前、つまり半世紀以上前の私です。小学校4年から卒業までの事です。父が大学からの辞令で3~6年の周期で転勤をしていた時代であちこち色々なところに家族皆で引っ越しをしていました。三重県尾鷲市から奈良市に引っ越した時のことです。奈良の椿井小学校の4年に転入、4~6年まで先生も組替えも無く今現在も仲の良いクラスです。すぐクラスに溶け込みポニーテールの髪型でお転婆だったため佐々木小次郎みたいと云われていました。

先生は教職に就いたばかりのお兄さんの感じで、後に児童に読み聞かせを続けたという事で賞を受けられました。子供に添った教育であったように思います。

クラスの子供皆に対して平等でした。

宿直というと学校に行き、宿題、勉強のわからないところは教えてもらい、肝試し、ゲーム等楽しみ、休日も登校し校庭で皆で遊ぶ、中学受験の時は補習などなど。普通の授業を変えて黒板に絵や文字を書きながら「ジキルとハイド」や「ノートルダムの鐘」の原作など少し背伸びした物語をわかりやすく話したり、レコードをかけ感想を書かせたりで今考えるとかなりの情操教育をしてもらっていたと思えるのです。すでに亡くなられています。今もクラス会があるたびにこうして集まれるのも「先生のお陰ね」という言葉がいつも聞かれます。親しい友人とはゴルフ、食事会など毎年行いメールで近況報告などしています。今もなお心に生きている大きな贈り物もらった時期でした。



